

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
	地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	○
	地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		しばた いづみ		
氏名		柴田 いづみ		
所属	名称	結のまちづくり研究所・柴田いづみまちなか研究室／SKM設計計画事務所		
	役職	代表／共同代表		
連絡	住所 (職場)	〒171-0031 東京都豊島区目白 4-10-2-206		
	連絡先	e-mail	i.shibata[アットマーク]skm.co.jp	
		TEL 03-3954-1881	FAX 03-5982-3706	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院修了。 仏国立建築学校(旧ボザール)卒業。 一級建築士。仏政府公認建築家(D.P.L.G)。 柴田いづみ建築設計事務所、SKM設計計画事務所を経て、平成 25 年 3 月まで滋賀県立大学環境科学部教授、4 月から名誉教授。専門は建築設計、地域計画、環境計画。 作品に、JR矢吹駅+周辺施設、行橋駅連続立体高架橋及び駅周辺計画、駐日フランス大使館職員用集合宅(仏政府主催指名コンペ 1 位)、パストラルコート、エルザ世田谷(総合設計)で環境共生住宅認定を取得、ザ・ステージオ、パークハウスフォレストリエ他多数。グッドデザイン賞、東京建築賞優秀賞、第二回日本耐震グランプリ(内閣総理大臣賞)受賞 他多数受賞。 文化庁文化審議会専門委員、元内閣府中央防災会議専門調査会委員、元国土交通省 国土審議会政策部会国土政策検討委員会、NPO彦根景観フォーラム名誉副理事長、NPO東京いのちのポータルサイト副理事長、防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員長など務める。</p>			
著作・論文等	<p>「まちへ」(共著)、日刊建設通新聞社、平成 18 年 5 月 「環境フィールドワークのすすめ」(共著)、平成 19 年 3 月 『「2050 年」から環境をデザインする」(共著)、平成 19 年 10 月 「地域と大学の共創まちづくり」(共著)、学芸出版社、平成 20 年 11 月 「地震大国の防災を考える」(共著)、自由国民社、平成 24 年 3 月 東京いのちのポータルサイト防災ウィーク冊子「記念資料集」平成 25 年 9 月 他</p>			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	新聞機関誌等多数。
取組概要	<p>主な取組</p> <p>1 環境 →内湖再生の基礎調査 琵琶湖の内湖再生の為の活動。</p> <p>2 中心市街地活性化 → 学生サークルACT(Action Connect with Town)との空きビルを使った中心市街地拠点活動。</p> <p>3 まちづくり →大学より拠点をまちなかに移し、彦根地域に密着したまちづくりに取り組む。重要伝統的建造物保存地区(文化庁選定)の景観計画、交通計画、建物の修景計画等のアドバイス。彦根景観フォーラム名誉副理事長として各種活動。(東京)目白まちづくり倶楽部で各種活動。</p> <p>4 耐震・防災 →NPO 東京いのちのポータルサイト副理事長として、各方面に提言。防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員長、木造伝統構法の耐震事例づくり。</p>
メッセージ	<p>地域には、優秀な人材がたくさんいます。</p> <p>学生には「まちに何ができるか考えてください」、まちには「学生に何ができるか考えてください」と言って活動をすすめていました。</p> <p>楽しみながらまちづくりができる背景をつくるのが地域活性化伝道師の役割だと思っています。</p>
関連ホームページ	<p>NPO 彦根景観フォーラム http://hikonekeik.exblog.jp/</p> <p>NPO 東京いのちのポータルサイト http://www.tokyo-portal.info/</p> <p>SKM設計計画事務所 http://web-skm.com/</p>
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。